

2026 年 6 月 30 日

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 学校関係者評価報告書

ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校

校長 大平 愛

学校法人ミスパリ学園 ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 学校関係者評価委員会は、2025年度（令和7年度）自己点検評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施致しましたので、以下のとおり報告致します。

1. 開催日時：2026年6月30日（火） 13：00～15：30

2. 場 所 ：ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校

3. 参加者

学校関係者評価委員

平山 浩篤 （学校法人ミスパリ学園 事務局長）

東 千晶 （株式会社シェイプアップハウス 副社長）

越川 治枝 （株式会社ミス・パリ 教育部 部長）

須賀谷 映子 （NPO法人日本スパ・ウェルネス協会 教育委員長）

事務局 大平 愛 （ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 校長）

田垣 真 （ミス・パリ・ビューティ専門学校 大阪校 教育課）

4. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

① 学生アンケートにおける改善点

【現状】

本校では在校生に対し、年2回（前期・後期）授業アンケートを実施。アンケート結果を分析し、授業内容や授業担当講師に対しての学生満足度を確認し、課題の抽出及び、改善に努めている。

2025年度におけるアンケートの実施方法・分析結果は、以下の通り。

〔実施方法〕全在校生対象。無記名式。10項目5段階評価及び自由記述によるコメントを求める。

〔実施時期〕前期：2025年8月1日（金）～22日（金） 後期：2026年1月23日（金）/2月3日（火）

〔分析結果・取り組み〕

年間を通して、ほぼ全ての項目において講師評価は90%以上の満足度となり、本校の教育活動について学生から高い評価を得ることができた。

また、2024年度に課題であった兼任講師の授業満足度については、講師会を実施し、本校の教育方針や学生理解を深めたことで、2025年度は改善につなげることができた。一方で、専任講師の授業満足度は低下傾向にあるため、今後は教職員間で統一した学生指導を行い、授業満足度の向上を図る。

自由記述では、授業への満足や技術力向上への意欲など前向きな意見が多く見られた。

今後も授業アンケートを活用し、講師との面談や授業改善を通して、教育の質向上とより良い学習環境の整備に努めていく。

.....

② 自己点検評価点の理由

【現状】

2025年度の自己点検評価では、教員体制の充実や教育環境の整備において評価点が向上し、比較的安定した学校運営ができているものと判断している。

一方、進級率については改善傾向ではあるが、引き続き課題改善に向けた取組みを継続している。また、前年と比較し、トータルビューティ学科の定員充足率は65.8%（前年比30.8ポイント減）となり、学校の魅力や教育内容を十分に発信できなかったことが課題として挙げられる。

本委員会では、本校の教育活動および学校運営に関する取組みを報告するとともに、今後の課題や改善策について学校関係者評価委員よりご意見・ご助言をいただき、さらなる教育の質向上と学校運営の改善につなげていく。

(1) 学生受入募集について

オープンキャンパスや学校説明会等の来校者数の減少に伴い、入学希望者が減少した。

要因として、来校者への継続的なフォロー体制の不足や低学年層へのアプローチ機会の減少により、本校の魅力を十分に発信できなかったことが挙げられる。

今後は、低学年層への広報活動を強化するとともに、来校者へのフォロー体制を充実させ、継続的な関係づくりを推進することで、安定した学生募集につなげていく。

(2) 教育活動・学生支援について

2025年度は、「学生の自立・自律の育成」を教育の柱とし、学習意欲の向上と授業内容の充実に取り組んだ。現場での具体的な事例を取り入れた授業を実施することで、学生が主体的に学ぶ姿勢を育成するとともに、自ら考え行動できる人材の育成を推進してきた。

さらに、講師会を実施し、本校の教育方針や学生理解を深めることで、教育方針の共有および授業の質向上に努めた。

今後も学生一人ひとりに寄り添った教育を推進するとともに、教職員および兼任講師が連携し、教育の質向上と学生支援の充実に取り組んでいく。

(3) 学習成果について

前年度の課題であった資格取得率については、学生一人ひとりの習熟度に応じた指導や試験対策を実施した結果、JE0上級エステティシャン資格取得率は前年比11.9ポイント向上するなど、一定の成果が見られた。

また、教育目標として掲げた「自立・自律」の教育を継続したことで、進級率は前年比1.6ポイント向上した。一方で、退学者数については依然として課題が見られることから、学生一人ひとりの自己実現を支援する教育を継続するとともに、学習面・生活面の両面から支援体制の充実を図り、さらなる学習成果の向上に努めていく。

.....

③ 重点的に取り組む施策

授業アンケートおよび自己点検評価の結果より、2026年度の重点施策として次の2点を設定する。

1. 学生募集力の強化

本校では、「あなたに任せたい」と言われる人材の育成を目指し、人間力教育の魅力を発信する学生募集を推進する。高校生が将来のなりたい姿を具体的に描けるよう、「素敵大人計画」をキャリアデザイン教育の一環として展開し、オープンキャンパスを将来の進路を考える第一歩として位置付けることで、志望度の高い入学希望者の獲得につなげていく。

また、中学校・高等学校における職業体験授業やガイダンスへの参加を通じて、低学年層へのアプローチを強化し、美容業界への興味・関心を高めることで、早期からの進路形成を支援し、安定した学生募集につなげていく。

2. 学習成果および学習意欲の向上

本校では、「自立・自律」を教育の柱とし、オリエンテーションやキャリア教育の充実を通して、学生一人ひとりが学ぶ目的を理解し、主体的に学習へ取り組める教育を推進する。

また、学生との信頼関係を深めるため、カウンセリング体制の充実を図るとともに、保護者との連携を強化し、学校・家庭が一体となって学生の成長を支援する。

入学前から将来像やキャリアデザインを具体的に描けるよう支援し、業界で長く活躍できる人材の育成につなげていく。

さらに、教職員一人ひとりの専門性と連携力を高め、組織として質の高い教育を提供することで、学習成果の向上および継続率の向上を目指していく。

委員より

- ・明確な目標を持つ学生は継続力が高いため、就職をゴールとするのではなく、その先の将来像を描けるキャリア教育の充実を期待する。
- ・学ぶ目的や本質を理解することで、技術・知識の習得がより効果的になるため、学生が美容業界への興味・関心を深められる教育を継続してほしい。
- ・学生募集においては、従来の募集活動に加え、SNS等を活用した情報発信を強化し、高校生に届く広報活動を推進していただきたい。

5. 全体総括

2025年度は、「自立・自律」を教育の柱とし、人間力の育成と学習意欲の向上を目指した教育活動を推進した。その結果、資格取得率や進級率の向上など一定の成果が見られた一方で、学生募集においては、本校の魅力発信や低学年層へのアプローチ強化が課題となった。

2026年度は、「素敵大人計画」を軸とした学生募集を推進するとともに、自立・自律を目指す教育を継続し、教育の質向上と安定した学生募集の実現に努めていく。

今後も、美容業界で長く活躍できる人材の育成を通じて、社会に貢献できる学校づくりを推進していく。